



議会だより

がわま



3月定例会

3月定例会審議結果

委員会の動き

一般質問 町の考えを問う

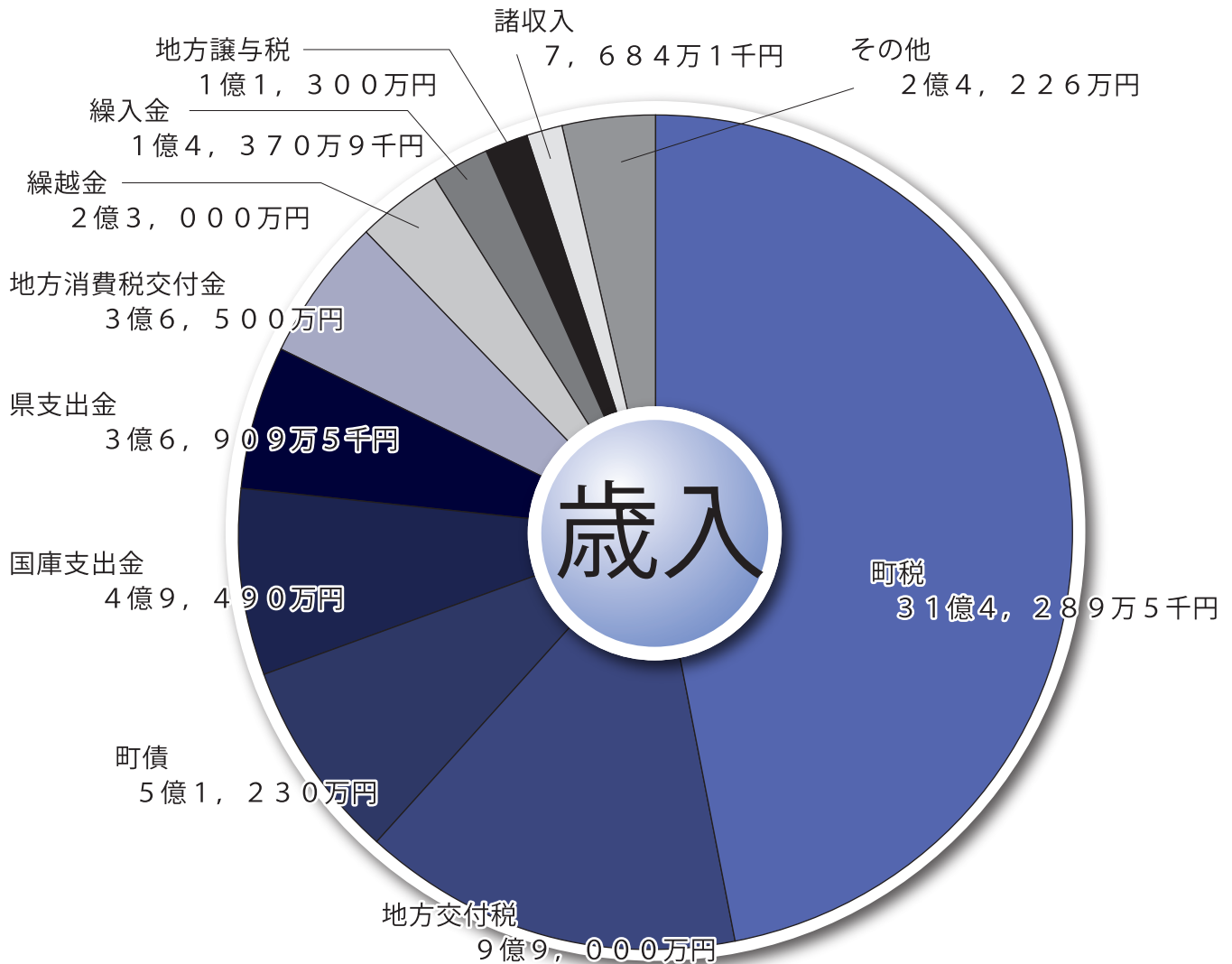
No.117

平成29年4月25日

平成 29 年度

一般会計予算

66億8,000万円

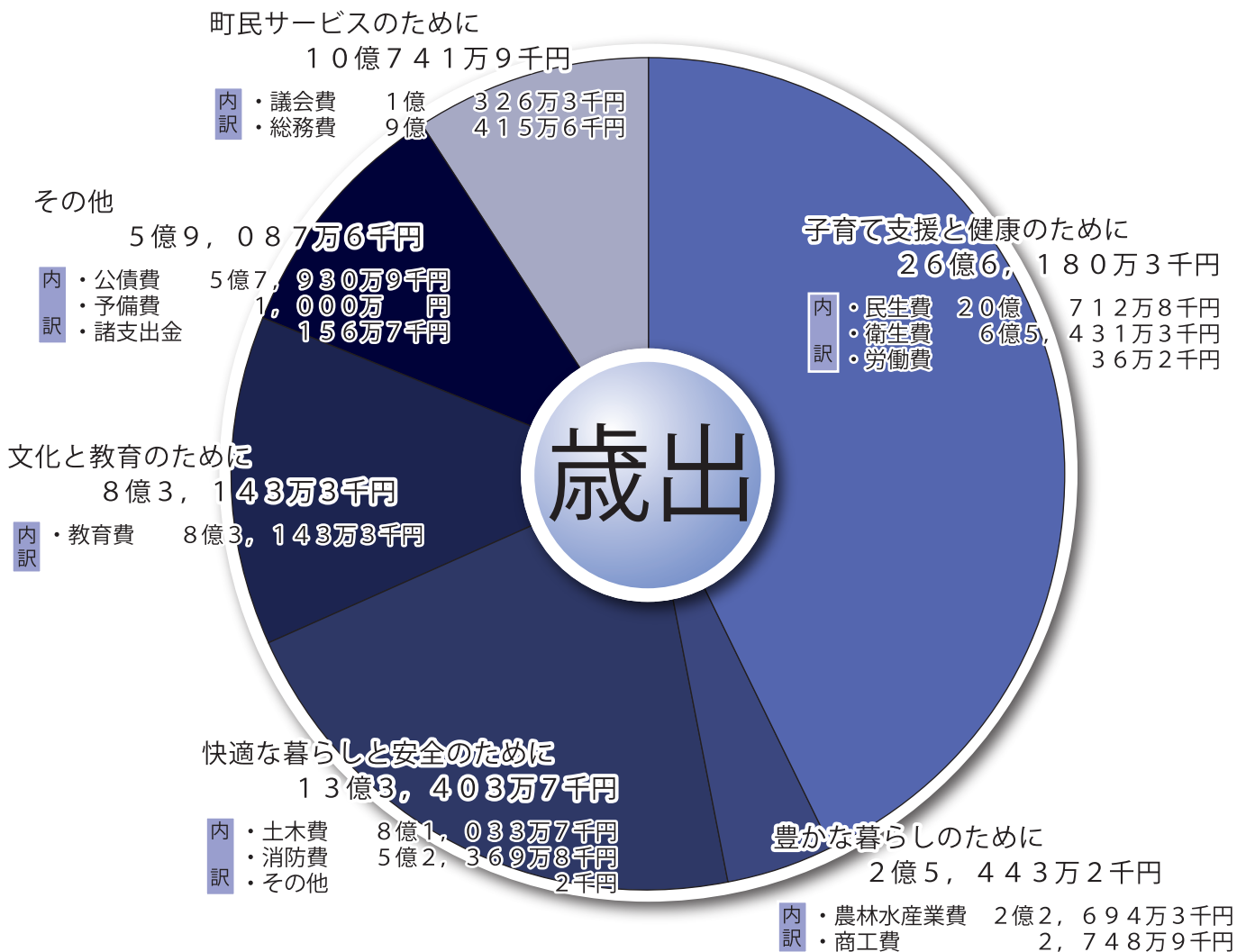


平成29年度 特別会計予算

特別会計予算名	予算額	前年との比較	備考
国民健康保険	30億8700万円	2億4,077万円	共同事業交付金の増加等
学校給食費	7,740万円	▲240万円	児童・生徒数の減少
下水道事業	3億8,500万円	▲1,400万円	公債費の減少等
介護保険	16億2,300万円	5,102万6千円	介護保険料の増加等
後期高齢者医療	1億8,400万円	652万4千円	後期高齢者医療保険料の増加等
合計	53億5,640万円	2億8,192万円	

平成29年度 水道事業会計予算

	予算額	前年との比較	備考
収益的収入	4億4,948万3千円	▲3,515万9千円	給水収益の減少等
収益的支出	4億4,811万円	▲7,050万円	原水及び浄水費の減少
資本的収入	1,399万7千円	▲2,718万5千円	企業債の減少
資本的支出	1億9,878万7千円	1,443万2千円	機械装置設備費の増加



3月 定例会 議案審議結果

平成29年3月定例会は、3月1日から3月14日までの会期14日間で開催されました。主な議題は、条例の一部改正8件、補正予算6件、平成29年度予算7件など33議案を審議しました。また、一般質問は7人が登壇し活発な質問が展開されました。議案の審議結果は次の通りです。

専決処分

■議案第1号 専決処分の承認を求めることについて（平成28年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第3号））

消費税を納付するため、事業費214万3千円を減額し、総務費に追加したものです。（**全員賛成・承認**）

条例

■議案第2号 川島町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて

育児休業等に関する法律及び育児・介護休業等、育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、条例を改正するものです。（**全員賛成・可決**）

■議案第3号 川島町税条例等の一部を改正する条例を定めることについて

地方税法及び地方交付税法等の一部が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。（**全員賛成・可決**）

■議案第4号 川島町国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて

地方税法施行令等の改正に伴い、条例を改正するものです。（**賛成多数・可決**）

■議案第5号 川島町障害福祉計画等策定委員会設置条例の一部を改正する条例を定めることについて

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の改正に伴い、条例を改正するものです。

(全員賛成・可決)

■議案第6号 川島町在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例を定めることについて

在宅重度心身障害者手当の支給制限に係る施設が変更されたことに伴い、条例を改正するものです。

(全員賛成・可決)

■議案第7号 川島町介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて

介護保険法施行令の改正に伴い、条例を改正するものです。

(全員賛成・可決)

■議案第8号 川島町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等の基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて

介護保険法に規定する主任介護支援専門員に更新制度が導入されたことに伴い、条例を改正するものです。

(全員賛成・可決)

管理者の権限を行う町長の地位を明文化するにあたり、条例を改正するものです。

(全員賛成・可決)

補正予算

■議案第10号 平成28年度川島町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出からそれぞれ6,033万3千円を減額するものです。主なものは、財産管理費等の減額です。

(全員賛成・可決)

■議案第11号 平成28年度川島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ2億3,311万8千円を追加するものです。主なものは、一般被保険者療養給付費等の追加です。

(賛成多数・可決)

■議案第12号 平成28年度川島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出からそれぞれ611万2千円を減額するものです。主なものは、事業費の減額です。

(全員賛成・可決)

■議案第13号 平成28年度川島町介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出からそれぞれ3,452万9千円を減額するものです。主なものは、介護サービス給付費等の減額です。

(全員賛成・可決)

■議案第14号 平成28年度川島町

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ247万2千円を追加するものです。主なものは、後期高齢者医療保険料の追加です。

(全員賛成・可決)

■議案第15号 平成28年度川島町水道事業会計補正予算(第3号)

水道事業会計補正予算(第3号)収益的収入から1,764万円を減額し、収益的支出から205万4千円を減額、資本的支出から659万1千円を減額するものです。主なものは、水道料金の減額等です。

(全員賛成・可決)

当初予算

■議案第16号 平成29年度川島町一般会計予算

(賛成多数・可決)

■議案第17号 平成29年度川島町国民健康保険特別会計予算

(賛成多数・可決)

■議案第18号 平成29年度川島町学校給食費特別会計予算

(賛成多数・可決)

■議案第19号 平成29年度川島町下水道事業特別会計予算

(全員賛成・可決)

■議案第20号 平成29年度川島町介護保険特別会計予算

(賛成多数・可決)

■議案第21号 平成29年度川島町後期高齢者医療特別会計予算

(賛成多数・可決)

■議案第22号 平成29年度川島町水道事業会計予算

(全員賛成・可決)

町道路線の廃止・認定

■議案第23号 町道路線の廃止について(町道3083号線外8路線)

三島地区土地区画整理事業の施工に伴い廃止するものです。

(全員賛成・可決)

■議案第24号 町道路線の廃止について(町道2235号線外22路線)

道路形態が変更となったため廃止するものです。(全員賛成・可決)

(全員賛成・可決)

■議案第25号 町道路線の廃止について(町道1011号線外15路線)

道路形態が変更となったため、廃止するものです。(全員賛成・可決)

(全員賛成・可決)

■議案第26号 町道路線の廃止について(町道3545号線外2路線)

普通財産にすることに伴い廃止するものです。(全員賛成・可決)

(全員賛成・可決)

■議案第27号 町道路線の認定について(町道3556号線外7路線)

三島地区土地区画整理事業の施工に伴い新たに認定するものです。

(賛成多数・可決)

■議案第28号 町道路線の認定について(町道2376号線外22路線)

道路形態に合わせて新たに認定するものです。(全員賛成・可決)

(全員賛成・可決)

■議案第29号 町道路線の認定について（町道1563号線外10路線）
道路形態に合わせて、新たに認定するものです。（**全員賛成・可決**）

■議案第30号 町道路線の認定について（町道3564号線外1路線）
一部廃止した路線の残地を新たに認定するものです。

（**全員賛成・可決**）

指定管理者の指定

■議案第31号 川島町子育て支援総合センター「かわみんハウス」の指定管理者の指定について

川島町子育て支援総合センターの指定管理者として、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社を指定するものです。

（**全員賛成・可決**）

人事

■議案第32号 副町長の選任について

副町長として、「志村宏」氏を選任するものです。

（**全員賛成・同意**）

議員提出議案

■議案第1号 建設アスベスト訴訟の早期解決と被害者の救済を求める意見書の提出について

（**賛成少数・否決**）

各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対を表しています。また、「-」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

議案	議員氏名														審議結果
	松原謙司	稲村美代子	小峯松治	遠山尚	新井悦子	栗岩輝治	爲水順二	飯野徹也	森田敏男	菊地敏昭	道祖土証	山田敏夫	小高春雄	石川征郎	
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第4号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第11号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第16号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第17号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第18号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第20号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第21号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第27号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議員提出 議案第1号	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	-	否決

（※議員名は、議席順となっております。）

町の魅力発信と認知度向上のために、 KJ(かわじま)ブランドを推進

●議案第16号 平成29年度川島町一般会計予算

問 町たばこ税が約1億7,000万円計上されているが、1箱当たりどれ位町に入ってくるのか。

答 20本当たり420円のたばこで、約105円となります。

問 地域資源魅力創出事業業務委託料約2,300万円の内容は。

答 KJブランドを推進するためのプランニングです。ロゴやキャ



KJブランド

ッチフレーズの作成、PR動画の作成、インターネットショップサイトの作成、バスモニターツアーなどを予定しています。

問 バスモニターツアーは、職員が一丸となって事業を進めたほうが、良いPRが出来ると思うが。

答 バスモニターツアーには、職員が同行しております。行程等も職員が提案をするなど、業者と調整を図り、一緒になって進めていきます。

問 マスコットキャラクターグッズ作製業務委託の、内容と価格は。

答 携帯電話やバッグに付けられる大きさの「かわべえ」「かわみん」のぬいぐるみストラップをそれぞれ1000個程度作製します。販売額は500円程度で考えております。

問 平成の森公園ライトアップ業務委託料約670万円は、LED電球の増設分も、含まれているのか。

答 平成29年度は1万7000個追加し、合計4万7000個で実施する予定です。

●議案第22号 平成29年度川島町水道事業会計予算

問 県水の受水割合が下がり、赤字収支が少なくなるようだが、使えば使うほど高額になる現行料金を、見直す予定はあるのか。

答 今回、県水受水率を9対1から6対4に見直しを行ったことで、今までの2,000万円以上の赤字収支から、平成29年度は700万円ほどの赤字収支になる見込みです。しかし地下水を多く利用するために、ろ過機などの更新費用や配水管の耐震化計画もあるため、今後の状況を踏まえ、検証したいと考えています。

問 現在、町の水道料金は県下でも安いことから、インター南側地区開発の企業誘致に、アピールポイントとして利用できないか。

答 県内でも3番目に水道料金が



平成の森公園のライトアップ

低いことは、アピールポイントになると思われますが、インター南側地区の企業誘致と水道管の耐震化の計画が重なることから、いざ見直しをしなければならぬと考えています。企業向けと個人向けの料金を分けるなど方策も検討して、今後も水道料金を値上げせずに、事業を進めていければと、考えております。

閉校後の跡地利用の検討は、平成30年度以降も継続

●議案第16号 平成29年度川島町一般会計予算

問 閉校後の校舎等の跡地利用は、千葉県の保田小学校は観光や地域の活性化を目的に、あきるの市の廃校では宿泊施設に改造を、また、廃校をフィルムコミッション事業で活用している多摩川小学校のように、維持費だけでなく、収益面でも検討した事例もあるので、跡地の利活用については、平成30年度以降も継続

答 して実施します。

問 統合後の運動会の方式は、廃校する4小学校の運動会は、今まで、小学校と公民館合同で実施していますが、統合により学区の変更があり、地区体育祭においても、実施方法等、課題が出てくると考え、平成29年度に、公民館長・主事等と検討します。

問 川島町シルバー人材センター補助金が800万円から950万円となった理由は、

答 人件費の増と備品の購入費などによる増額であり、国県の補助も同額を見込んでいます。

問 放課後児童対策事業補助金とは、

答 かつばくらぶは平均で60人、約850万円、どりいむくらぶは45人・約890万円、かわじま学童クラブは45人・約1000万円です。

問 埼玉中部資源循環組合の可燃施設の町の負担率は、

答 川島町以外の8市町村は、均等割10%人口割90%で、川島町については、可燃ごみを持ち込むことによっては、施設の規模が大きくなる分の費用が負担金になります。

●議案第10号 平成28年度川島町一般会計補正予算(第6号)

問 障害者福祉サービス施設「にこにこ」「ぬくぬく」の利用人数は、

答 障害児放課後等デイサービス「にこにこ」は、約20名、障がい者及び障がい児も含めたショートステイ「ぬくぬく」は、該当者60名のうち約30名が利用し昨年の約2倍の利用です。

問 外出支援サービス事業委託料の減少理由は、

答 利用料金は、時間500円で、迎車費用300円が加算され、さらにヘルパーの付き添いは1時間当たり600円が加算されます。一方かわみんタクシーは一回500円のため、減少していると思います。

●議案第11号 平成28年度川島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)



新ごみ処理施設 配置予定図

問 医療費の伸びの理由と内容は、

答 月額100万円を超える高額の診療報酬が、昨年度の月25件程度から、現在は月30件程度へ増加していること、肝炎の新薬を使用している方が数名いることや人工透析患者も数名増となり、前年対比約6%増となっています。



地区体育祭の風景

町の考えを問う

町政一般質問要旨 3月10日、13日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<p>新井 悦子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格運行となったかわみんタクシーの状況と町外から役場に来庁される方の足の確保について ・国民健康保険について ・母子保健対策について 	<p>稲村 美代子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定避難所のトイレについて ・町内在住の外国人について ・LGBTの人への配慮について 	<p>栗岩 輝治 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の要望への対応策について ・国民健康保険税について ・学童保育クラブについて 	<p>飯野 徹也 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年度の重点施策について ・中央通りの交通安全対策について ・さくら通りの整備について 	<p>松原 謙司 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠山記念館との関わりについて ・鳥獣被害について 	<p>小峯 松治 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成の森公園の管理等について ・空き家対策について 	<p>菊地 敏昭 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致について ・農業政策について ・キョリ光輝くまちづくりについて(平成の森公園の観光化)
--	--	--	--	---	--	---



問 町内外の方が役場へ赴く交通手段は

答 若葉駅～八幡団地経由で役場に乗り入れる路線を新設

あら い えつ こ
新 井 悦 子

問 本格運行したかわみんタクシーの状況と公共交通会議での「元氣なバス需要創出モデル事業」の結果は。

答 町長 かわみんタクシーの利用登録者や利用件数が増加し、町民の日中移動支援施策が進んできた。役場来庁者の方の足の確保はモデル事業を活用し、東武バスとの交渉でバス路線を新設する。

答 政策推進課長 かわみんタクシーの登録者は1200人を超え利用者数は月550人以上になっています。モデル事業ではバス事業者、県、町の三者協議協働により、既存のバス路線を延伸し役場まで運行開始予定になりました。



八幡団地のバス停

問 国民健康保険が平成30年に県に移行するにあたり、スケジュールと試算の標準保険税額のシミュレーションについて町の考えは。

答 町長 タイトなスケジュールですが、進捗状況を随時お知らせしていく。標準保険税額では全市町村が値上げという中、町は値上げ幅が少ない市町村3位と位置づけられたが、今後も動向を注視していく。

答 健康福祉課長 町はシステム改修や税条例の変更等を実施します。標準保険税の上がり幅が少ないのは制度の持続可能性が確保できたと考えます。

問 産後うつ予防、聴覚障がい の早期発見の推進体制の整備は。

答 健康福祉課長 未熟児、低体重児を出産した方にスクリーニングを実施。対象者を広げていきます。母子健康手帳交付時から聴覚検査の普及啓発を行います。



ごみの分け方・出し方勉強会

問 昨年、町民会館のトイレが改修されました。町には指定避難所が11か所あり、トイレの改修が必要と思われませんが、洋式化の予定は。

答 **教育総務課長** 三保谷小、八ッ保小は、平成29年度に暖房便座（一部は洗浄機能付き便座）の洋式トイレになります。中山小の改修は平成30年度の予定です。

答 **生涯学習課長** コミュニティセンター、町民体育館は、今後大規模改修計画にあわせて行う予定です。

問 川島町では2016年3月31日現在、230人の外国人の方が住んでいます。外国人が安心して暮らしていくために、どんな対策を行っているか伺います。

答 **町長** 第5次川島町総合振興計画の中で国際化を掲げていますが、昨年3月1日に町ホームページをリニューアルし、多言語の翻訳機能を設けました。また、教育委員会と川島国際交流クラブの共催で外国人の方向けの防災教室、日本語教室等を実施しています。

問 日本語がわからない児童・生徒に対してのフォローは。

答 **教育総務課長** ボランティアの方に支援をお願いしている他、教頭、教員等が漢字等の指導を行っています。

問 LGBT（性的少数者）の人に対して、公的申請書への性別廃止等の配慮はしているか伺います。

答 **総務課長** 申請書418種類のうち性別欄があるのは28%です。必要なものは簡素化していきます。



答

問

外国人が暮らしていくための対策は

防災教室、日本語教室等を実施

稲村 美代子

問 条例通りに

学童保育室の分区を

関係者で組織を

立ち上げて検討します

答

栗岩 輝 治

問 町内の学童保育クラブは3ヶ所で、小学校数と比較した設置率は県内で下位から2番目です。来年度からつばさ南小学校開設に合わせて新規に開設の考えは無いか。町の条例では、おおむね定員は40人を限度と定められています。かわじま学童クラブ（八ッ保小）では、29年度に50人を越すと聞いています。かっぱくらぶ（中山小）では、3年前から60人から70人の児童が入所しています。早急に分区の必要があると考えますが町の見解を伺います。

答 **子育て支援課長** 設置率が県下下位から2番目は承知しています。

問 区長制度について、行政に関わっていない1年限りの方が多いため、大変な思いで対応している。引継ぎなどの改善が図れないか。

答 **総務課長** 全体の区長会を1回、各地区での説明会を1回づつ実施しており、対応しています。

問 地域への砂利敷きは、定期的に出来ないか。1年経過で、穴だらけになり困っている。

答 **まち整備課長** 砂利敷き、舗装や側溝整備などは、公共性が極めて高いので、区長からの申請が必要で。特に、農道などは敷く時期が大切のため、区長と工期を相談の上、実施しております。



かわじま学童クラブ



さくら通りの看板



問 安藤川さくら通りの整備は

答 川の広場を中心として整備を行う

飯野徹也

問 町長は、農業の振興、インター南側地区開発の推進を、29年度の重点課題としているが、具体的にいかに進めていく考えか。

答 町長 人・農地プランの活用と、農地中間管理機構を活用し、農地の利用集積を進め、大型機械の活用で生産性が高まるよう支援していく。また農業の6次産業化戦略を策定し、国の地方創生推進交付金を活用、新製品の開発、生産販売体制の構築、ブランド化、推進する人材の育成などに取り組んでいく。インター南側

地区開発については、地権者協議会、事業パートナーと町3者で連携して、国、県との調整を進めていく。

問 本年1月27日、中央通りと、町道1-24号線の交差点で、町の社協の送迎車と町外の方の運転する普通乗用車が衝突事故を起こしました。この交差点は、川島中学校の通学路にもなっており、近隣住民は大変心配している。町は、どのような安全対策を行っているのか。

答 まち整備課長 今回の事故の原因を踏まえ、町道1-24号線の一時停止の標示に、「止まれ」の文字の両側に白い色で縞模様をつけ、注意喚起を近日中に行う。

問 安藤川西岸のさくら通りの桜も大きくなったが、駐車場もなく花を見る事もできない。整備の考えは。

答 町長 今年の花見シーズンに間に合うように駐車場の整備を行う。通りの名に負けぬよう順次植樹整備し、イベントなども取り組んでいきたい。



問 鳥獣被害対策は

答 捕獲頭数を増やしたい

松原謙司

問 川島町への来訪者を増やすために、遠山記念館との連携を強化すべきと考えますが、今後の方向性は。

答 農政産業課長 広範に積極かつ継続的な情報の発信に取り組んでいきたい。

問 町が遠山記念館で行った事業は。

答 農政産業課長 27年度と28年度に吉見町と、27年度に比企の9市町村と連携し、スタンラリーを実施。今後も、遠山記念館と連携していきたい。

問 子どもたちに対し、理解や親しみを深めるための教育活動の状況は。

答 生涯学習課長 遠足、写生の実



急増している鳥獣被害

問 施設、地域郷土学習として施設を見学。日本の伝統的な遊びである投扇興を、イベントとして活用しては。

答 生涯学習課長 ふるさと歴史講座で体験を実施。町のイベント等で体験できるように調整したい。

問 アクセス道路としての町道1-24号線の改良予定は。

答 まち整備課長 大型観光バスに対応できるよう、圏央道側道にアクセスする道路の整備を進めている。

問 有害鳥獣の捕獲件数の推移は。

答 農政産業課長 平成25年度と28年度の比較で、アライグマは67頭から179頭。タヌキは13頭から48頭。ハクビシンは7頭から12頭。

問 捕獲のための研修を行う予定は。

答 農政産業課長 研修の実施を検討したい。捕獲器貸し出しの際、捕獲マニュアルの配布も検討し、捕獲頭数を増やしていきたい。



平成の森公園ちびっこ広場

問 平成の森公園は、開園以来20年が経ち、木々も大きくなり、町内外の人達に憩いの場として親しまれ、多くの人々が訪れています。また、ちびっこ広場（大型遊具）、バラのトンネル日本一により、町の大きな広告塔の役目も果たしています。そこで、管理体制等について伺います。

答 まち整備課長 管理事務所には、年末年始を除く毎日朝8時30分から午後5時まで1日1人が従事し、園内の巡視を行い、危険・違反行為に

問 対し注意、また施設の点検確認等を行っております。清掃業務は、常時対応しており、年間約12万人訪れる方にも安心安全な公園であるよう保守管理等に努めています。

問 一層快適にし、また来たくなくなるような公園施設及び管理体制の充実が必要ではないか。

答 町長 今後一層の管理の充実、また、来た人が感動を持つ公園づくりを進めて参りたい。

問 空き家は、全国的に増加し現在820万戸あり、我が町でも増えている状況です。防犯・景観・衛生等の点からも近隣住民は迷惑を被っており、町としての対策は。

答 町長 町では、空き家対策法に先立ち、平成25年4月に川島町環境保全条例を施行し、空き家等の実態調査、所有者への管理指導を行うと共に空き家バンク制度による流通の促進を図ってきたがなかなか進んでいない。埼玉県空き家対策連絡会と連携し、有効な対策を検討して行く。



答

問

平成の森公園の管理体制等は
適正か
今後も一層、管理及び施設の
充実に努める

小 峯 松 治



問 町の企業誘致の考えは

答 誘致できる産業用地を
創出することが急務です

あ き と し ち き
昭 敏 地 菊

問 町の企業誘致の考えは。

答 町長 企業を誘致し産業を振興することは、町内の経済活動を活性化させる重要な課題と認識しており、す。圏央道効果を、産業振興につなげていきたい。IC南側地区の開発計画を重点課題とし推進して、産業用地を創出し、企業誘致を進めます。

問 川島IC北側産業団地の開発経緯それに要した年月と進出企業数は。

答 まち整備課長 昭和61年から平成21年8月の土地区画整理事業まで約22年半を要し、進出企業数は16社、操業企業は10社です。

問 企業誘致の開発の方向と優遇税

答 政策推進課長 県の他25市15町では、固定資産税相当額の3年程度の助成や、新規雇用者に応じ助成金を交付しています。本町の場合は、誘致できる産業用地を創出することが、急務であると考えています。

問 農地集積事業と道路、用水路、排水路の整備計画は。

答 農政産業課長 平沼地区の道路拡幅を計画し、この地区をモデル地域として整備して他地区に波及させたいと考えています。

問 平成の森公園多目的広場の降雨に強い排水対策と案内表示板は。

答 まち整備課長 開設20年を経過し、排水対策が必要で計画的に整備したいと考えています。また、案内表示板は、利用者の要望に合わせて設置し、障がいのある方への配慮については今後も修繕をしてまいります。



圏央道の路線図

議会日誌

2月

- 2日 比企郡町村議会議員研修
- 10日 町村長正副議長合同研修会
- 22日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 28日 埼玉県町村議会議長会定期総会

3月

- 1日～14日 3月定例会
- 11日 さくら保育園・けやき保育園 卒園式
- 14日 議会全員協議会
議会報編集委員会
- 15日 川島中学校・西中学校卒業式
- 23日 各小学校卒業式

4月

- 3日 議会報編集委員会
- 10日 各小中学校入学式
- 11日 議会報編集委員会

比企広域市町村圏組合議会

石川 征郎
栗岩 輝治

平成29年第1回組合議会定例会が、2月8日に開催されました。提出された議案は、平成29年度予算関連議案5件、平成28年度補正予算4件、その他7件の16件です。平成29年度予算総額35億560万円の内訳は、消防特別会計31億9千万円（川島町は、加盟していません）、一般会計7,600万円（川島町負担金259万円）、斎場及び壺きゆう自動車事業特別会計1億7,200万円（川島町負担金288万円）などです。

なお、東松山斎場建設計画について、式場存続を盛り込んだ計画の見直しを図るとの回答が、管理者からありました。（栗岩）

埼玉中部資源循環組合議会

石川 征郎
森田 敏男

平成29年第1回組合議会定例会が、2月9日に開催されました。提出された議案は5件です。議案第1号から議案第3号は、職員の勤務時間、特別職の費用弁償、一般職員の給与等に関する条例の一部改正です。議案第4号は、平成28年度一般会計補正予算で、4,571万6千円を減額するものです。議案第5号は、平成29年度一般会計予算で、総額を5億4,500万円とするものです。全ての議案が、原案どおり可決されました。

なお、事業計画を精査した結果、稼働時期を約1年半先送りすることが、報告されました。（森田）

表紙解説

第1回和船体験会へ安藤川桜めぐりに参加しました。数日前までは、暖かい日がありましたが、その後寒の戻りがあり、寒い日が続いているため、桜の花もひと休みしています。木の下では地元若者達が、酒宴の席を開いている姿も見られました。

和船体験会当日の桜は一分咲きでしたが、大勢の方が和船に乗り、花見を楽しみました。地元の乗船者の中には、和服を着て和船体験に参加した人もいました。

桜の花は満開ではありませんでしたが、水とみどりの自然を多くの人達が満喫していました。（写真・文章／遠山）

編集後記

3月は、別れの月であり、また同時に新たなスタートに備える月でもあります。小学校、中学校でも卒業式がありました。小学校は、6年間ですので、入学当時は、あどけなさが残っておりましたが、卒業式では凛々しい姿が目に入り、成長の跡を実感しました。

中学校では、もう既に大人としての考え方を持って行動等をしており、教育の重要性を改めて考えさせられました。

町も3月議会が終わり、平成29年度の当初予算も成立し、4月から新年度事業がスタートします。子ども達の未来のため、安心して暮らせるまちづくりのため、予算の効率的な執行を望むものです。（小峯）

議会報編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 飯野 徹也 |
| 副委員長 | 新井 悦子 |
| 委員 | 遠山 尚 |
| 委員 | 小松 松治 |
| 委員 | 稲村 美代子 |
| 委員 | 松原 謙司 |
| 相談役 | 石川 征郎 |

次回6月の定例会
6月8日(木)
開会予定です。